

来年度から女子生徒のスラックス着用を標準にする」と発表した山陽中学校(姫路市延末)。「今の制服の不便さや新制服のデザインについて、生徒会でも真剣に議論してきた。中学生らしい、でも社会へ

の一步にふさわしい制服にできた」。28日の会見に出席した生徒会長の3年中谷真大君(15)は、教員や保護者、生徒が2年半かけて話し合って完成させた新制服への思いを率直に語った。(1面参照)

新制服「社会への一歩」

山陽中、女子のスラックス標準化

お披露目された新制服。女子生徒もスラックスを標準とする＝28日午後、姫路市立山陽中学校(撮影・安藤真子)



ジェンダーレス

新しい制服 性別とらわれず

姫路市立山陽中学校(姫路市延末)は28日、来年度から採用する新たな制服について、男女ともスラックスとブレザーを標準にする」と発表し、性別にとらわれないジェンダーレスの観点から女子に選択肢を設ける学校は増えていくが、スラックスを基本とするのは全国的にも珍しい。背景は選択肢を導入しても、周

生徒会、教員らと2年半協議



新制服について発表する山陽中学校の生徒会のメンバーや校長ら＝姫路市延末

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

ト着用を認める。新制服は男女ともブレザーにチェック柄のスラックスで、夏服は活動しやすいポロシャツ。基調となる緑色は同校西側に広がる手柄山をイメージした。胸ポケットには、美術部が原案を制作した校章入りのエンブレムも配置してある。新制服を紹介した生徒会副会長の3年森麗羽さん(15)は「スカートだと夏でもクーラーで寒く、清掃や自転車に乗るときに動きづらかった。自分たちは卒業して着られないけど、新制服を見て改めて新入生がうらやましいと感じた」と笑顔を見せた。(井沢泰斗、安藤真子)

時代に合わせて 男女共通スラックス

19年にはPTAの保護者らも交えて検討委員会を立ち上げ、在校生や進学予定の小学生らを対象にアンケートも実施。「なぜ女子だけスカートなのか」といった疑問や、「時代に合わせていない」との指摘が上がり、スラックスの標準化に踏み切った。一方でスカートにこだわる声にも配慮し、年度当初に申請すれば男子も含めて着用を認める。新制服は学校周辺の手柄山をイメージし、緑色を主体にしたデザイン。会見した長谷川貴久校長は、選択肢の課題について「社会の理解がまだ十分でなく、(LGBTなど)性的少数者であることを表明しづらい雰囲気がある」と指摘。今回の見直しにより「男女分け隔てなく着やすい制服になった」と強調した。大手学生服メーカーによると、北海道では冬場にスラックスで統一する学校があるものの、通年での標準化は珍しいという。(井沢泰斗)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。